

WebClass による授業コンテンツ共有

西田孝洋¹⁾

1) 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科

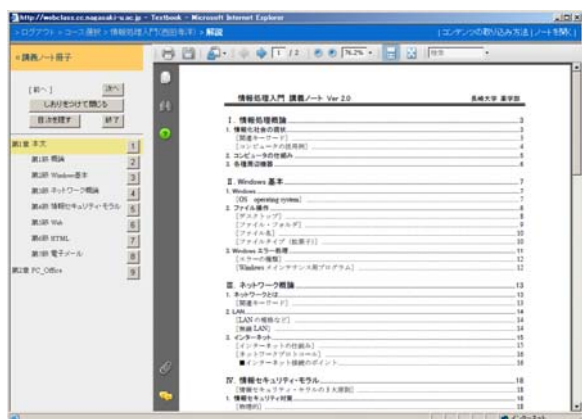
Abstract: 長崎大学 eラーニング研究会では、授業コンテンツの共有を大きな目的としている。現在、長崎大学で試行している授業用プラットフォーム WebClass では、簡単に授業コンテンツを共有することができる。その具体的な方法について、情報リテラシー教育用コンテンツを例にして、WebClass を利用したコンテンツ共有の方法、従来のコンテンツの一括取り込み、ドリルテストの系統的な作成方法の概要を説明する。さらに、共有コンテンツを集めた WebClass オープンコースを紹介する。

Key Words: e-learning, open course, literacy, LMS

1. コンテンツ共有の方法

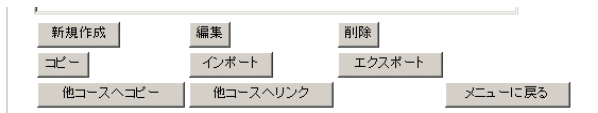
共有可能な授業コンテンツとしては、長崎大学1年次の必修科目である「情報処理入門」の講義ノート（ワードやPDF形式ファイル）が考えられる。WebClass では、図1のような解説コンテンツとして作成できる。

図1. 情報処理入門講義ノートの解説コンテンツ



WebClass の解説で、編集ボタンを押すと図2のようなメニューが下の部分に表示されて、コンテンツの共有などができる。WebClass のその他の機能である、会議室やテストなど、いずれのコンテンツも共有できる。

図2. 解説の編集メニュー



基本的には、ZIP形式の圧縮ファイルでコンテンツをコピーすることになる。自分の実験室から実際のコースへアップしたり、バックアップの目的でも有用な機能である。

WebClass でのコンテンツ共有の方法を整理すると下記のようなになる。特に、他コースへのリンクは、コンテンツを集中管理できるので、非常に便利である。

①Zip ファイルでコピー

エクスポート→ インポート

②コース間でコピー

他コースへコピー をクリック

③リンクする

他コースへリンク をクリック

2. 従来のコンテンツの一括取込

講義ノートやプレゼンテーションを、系統的に章立て構成で作成している場合、WebClass 解説への取り込みを一括して出来る。特に、HPでコンテンツファイルを管理している場合、フォルダやファイル名を英数字でつけないといけませんので、WebClass 用コンテンツへの取り込みは、すごくスムーズである。

WebClass 解説の新規作成画面で（図3）、右下の解説作成：一括取込で、コンテンツを一括取り込み出来る。

図3. 解説の新規作成画面



一括取り込み用の圧縮ファイルを作成するための手順を下記に示す。

①PDF ファイルを作成 ※PDF 以外でも可能

②PDF ファイルを章や項目ごとに分割

③PDF ファイルと資料ファイルを、同じフォルダにおさ

める

④CSV リストを作成 (同じフォルダ内) : 次ページ参照

⑤フォルダ全体を LZH 圧縮

⑥WebClass 解説で一括取込 (前スライド参照)

注意点としては、ファイル名は半角英数字にしなければならない。また、章、項目、ファイル名、資料ファイル名を示した図4のようなCSV形式のファイルを作成する必要がある。

図4. 解説一括取込用のCSVリスト

	A	B	C	D
1	chapter	section	file	attach_file
2	I. 薬物体内動態の制御 (DDS)		1.txt	
3		I-1 放出制御 (コントロールドリルス)	y3.11.pdf	y3.11.ppt
4		I-2 吸収改善	y3.12.pdf	y3.12.ppt
5		I-3 体内分布の制御 (ターゲティング)	y3.13.pdf	y3.13.ppt
6		I-4 遺伝子治療	y3.14.pdf	y3.14.ppt
7	II. 薬物相互作用		2.txt	
8		II-1 薬物相互作用の現状	y3.21.pdf	y3.21.ppt
9		II-2 薬力学的相互作用	y3.22.pdf	y3.22.ppt
10		II-3 吸収過程における薬物相互作用	y3.23.pdf	y3.23.ppt
11		II-4 分布過程における薬物相互作用	y3.24.pdf	y3.24.ppt
12		II-5 代謝過程における薬物相互作用	y3.25.pdf	y3.25.ppt
13		II-6 排泄過程における薬物相互作用	y3.26.pdf	y3.26.ppt
14	III. 臨床薬物速度論		3.txt	
15		III-1 バイオアベイラビリティの評価	y3.31.pdf	y3.31.ppt
16		III-2 2-コンパートメントモデル解析	y3.32.pdf	y3.32.ppt
17		III-3 生理学的薬物速度論	y3.33.pdf	y3.33.ppt
18		III-4 薬理効果の速度論	y3.34.pdf	y3.34.ppt
19		III-5 臨床薬物投与計画	y3.35.pdf	y3.35.ppt
20	IV. 薬物体内動態の変動		4.txt	
21		IV-1 体内動態の飽和 (非線形)	y3.41.pdf	y3.41.ppt
22		IV-2 病態時の体内動態	y3.42.pdf	y3.42.ppt
23		IV-3 各種生理的条件下	y3.43.pdf	y3.43.ppt
24		IV-4 薬剤耐性	y3.44.pdf	y3.44.ppt

3. ドリル問題の作成

WebClass では、エクセルベースで簡単に大量の問題作成が可能である。図5には、単語リストを活用した、英単語ボキャブラリー養成のための自主学習用のドリルテストのCSVファイルの内容を示している。

図5. ドリルテストのCSVファイル

4. オープンコースの紹介

これまでに作成した授業用などのコンテンツ (講義ノート、プレゼンテーション、演習コンテンツ、ドリルテストなど) に関して、全学的に利用可能なものについては、WebClass オープンコースとして、長崎大学の学生ならば誰でも登録できる形式で、下記のコースを公開している。

①情報リテラシー自主演習コース

演習コンテンツ、講義ノート・プレゼン

Office 自習用教材、Tips 集、ドリルテスト、など

②科学英語自主学習コース

ボキャブラリーテスト、練習問題、など

③薬剤師国家試験自主学習コース

過去の国試問題ドリルテスト、計算問題の解説、など。

5. まとめ

WebClass は授業コンテンツのための有用なツールであり、長崎大学においては、情報処理入門などのコンテンツの共有が推進されることを期待している。